



日本聖公会東日本教区 聖アンデレ教会

管理主教 フランシス 長谷川清純 牧師 司祭 ステパノ 卓志雄
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18
電話 03-3431-2822 FAX 03-3434-5698 電話礼拝 03-3431-0250
E-mail: st-andrew.tko@nssk.org HP: www.st-andrew-tokyo.com

聖霊降臨後第 18 主日(緑) 2026 年 9 月 27 日

礼拝案内

† 午前 7 時 30 分 聖餐式

(午前 7 時 25 分 礼拝奉仕者の祈りの集い)

司式・説教：司祭 卓志雄

聖歌 6 311 429

† 午前 9 時 15 分

こどもとともにささげる礼拝

司式・お話：司祭 卓志雄

聖歌 6 311 429

† 午前 10 時 30 分 聖餐式

(午前 10 時 10 分 礼拝奉仕者祈りの集い)

司式：司祭 卓志雄

入堂聖歌 6

参入	1 頁(162 頁)
清めの祈り	1 頁(162 頁)
キリエ	3 頁(163 頁)
大栄光の歌	4 頁(164 頁)
特祷 (特定 21)	

み言葉

第一朗読 エゼキエル書 18 章 1-4, 25-32 節

詩編 第 25 編 1-8 節

第二朗読 フィリピの信徒への手紙
2 章 1-13 節

福音書前聖歌 454

福音書 マタイによる福音書 21 章 23-32 節

説教：司祭 卓志雄

ニケヤ信経 9 頁(166 頁)

代祷 (週報 2 面) 12 頁(168 頁)

懺悔 13 頁(170 頁)

聖餐

平和の挨拶 15 頁(171 頁)

奉献聖歌 311

奉献

感謝聖別 (I) 16 頁(172 頁)

陪餐 24 頁(180 頁)

陪餐聖歌 495

感謝 28 頁(182 頁)

祝福 28 頁(183 頁)

派遣

退堂聖歌 429

† 午後 5 時 夕の礼拝

司式：牧野兼三

詩 19, 46 王下 20 I コリ 2:6-16

聖歌 453

Ⅰ 分典礼 (礼拝 Q&A) ⑤【謹んで質問させていただきます。決して悪くとらえないでください。実は、(聖アンデレ教会の聖餐式式文) 26 頁について、いつも気になっていることがあります。「あわれみ深い主よ……」とゴシック体で記され、その前には「一同次のように唱えてもよい」とありますが、なぜ冒頭の呼びかけの部分を、私を含め信徒の皆さんは唱えないのでしょうか。いつも、どうしてなのだろうと思っております。】

式文には「一同次のように唱えてもよい」とありますので、本来は、「あわれみ深い主よ」という冒頭の言葉から、司式者と会衆が一緒に唱えて差し支えありません。「あわれみ深い主よ」の部分だけを司式者が唱えるという定めがあるわけではありません。

現在、司式者が「あわれみ深い主よ」と先に唱え、会衆がそれに続いて唱えているのは、司式者が祈りの始まりを示し、一同が声を合わせて祈り始めるための合図として、これまで行われてきた礼拝上の慣習によるものと考えられます。

したがって、会衆が「あわれみ深い主よ」から一緒に唱えることに、典礼上の問題はありません。むしろ、式文に「一同」と記されていることを踏まえれば、冒頭から皆で唱えることも自然な唱え方です。

大切なのは、司式者と会衆を分けることなく、この祈りが「一同の祈り」であることを意識し、ともに心を合わせて唱えることだと思います。

本日の代祷 <敬称略>

一同着席する。

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界のために祈りましょう

※()内の斜体は音読しなくてもよい。

<わたしたち教会 - 全公会のため>

代祷者 神よ、主の公会、ことに

[聖アンデレ教会

(ステパノ 卓志雄司祭、トマス 日高馨輔執事)]

わたしたち教会の宣教・奉仕の働き、

教会に関わる諸団体

[東日本教区

(管理主教 フランシス 長谷川清純主教)]

八王子復活教会、

聖公会八王子幼稚園

[東日本宣教協働区 (北海道・東北・東日本教区)]

小山聖ミカエル教会 聖ミカエルおよび諸天

使の日 (9月29日)

[日本聖公会

(首座主教 アシジのフランシス 西原廉太主教)]

北海道教区のすべての働き

[エルサレムおよび中東聖公会

(ホサム・ナウム大主教)]

ラマラ 聖公会糖尿病クリニック

[全世界の聖公会]

バングラデシュ教会

[日本キリスト教協議会 (NCC) の働き]

国際基督教団

東京聖書集会

を強めて、み子のみ業を行わせてください。

すべての聖職と信徒、ことに私たちの管理主教

フランシス

を導き、み名を呼ぶ者を主の真理と愛のうちに

一致させ日々主の栄光をこの世に現す者とならせて
てください

会衆 主よ、お聞きください

<平和と正義の実現のため>

代祷者 神よ、すべての国の人びと、ことに、

ウクライナや中東、またイランに対するアメリカと
イスラエルの攻撃によって混乱のただなかにある

地域の人びと、ことにそれらの指導的立場の人びと
に知恵を与えて正義と平和の道に導いてください。

互いに尊敬する心を与え、ともにすべての人の幸
いを求めさせてください

会衆 主よ、お聞きください

<隣り人のため>

代祷者 神よ、わたしたちと家族、すべての友人と
隣り人、ことに、

日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれの家
族、友人、同僚、心にかけている人びと、聖アン

デレ教会に連なるすべての人びと、ボーイスカウ
ト東京港第14団、ガールスカウト東京都第138

団、入信を希望している人びと、洗礼、堅信、初
陪餐、結婚の準備をしている人びと、さまざまな

理由によって教会から離れている人びと、この地
域で生活し、働いている人びと、生命(いのち)の

問題、困難な人びとを支える働きに関わる人びと、
9月の代祷・信施奉獻先となっている働き・団体

ことに、山谷兄弟の家伝道所まりや食堂の働き

(日本基督教団山谷兄弟の家伝道所)

心臓病児保育活動(こぐま園、こぼと園)、

「こども食堂」活動支援(こども食堂を実
施している教区の諸教会・礼拝堂)、

カパティランの働き(カパティラン・オ
フィス)

に恵みを与え、ともに主を知り、主に仕え、互い
に愛することができるようにしてください

会衆 主よ、お聞きください

<困難な状況にある人のため>

代祷者 神よ、悩むひと、悲しむひと、病気のひと、貧し
いひと、その他災いの中にある人びと、ことに

感染症の収束のため

[病床にある人・自宅療養中の人・別紙参照]

世界および日本各地の自然災害の被害のため困
難な状況にある人びと

住む場所を追われた人びと、

自由を奪われ拘束されている人びと、

戦争や暴力、犯罪や差別に苦しむ人びと

を^{かえり}顧み、^{ちから}み力を^{あた}与えて、^{ゆうき}勇氣と^{きぼう}希望を増し^ま加え
主^{しゅ}の救^{すく}いの喜^{よろこ}びに^{みちび}導いてください

会衆 主よ、お聞きください

<逝去者のため>

代^{かみ}祷者 神よ、世^よを去^さった^{ひと}すべての人、それぞれ
が覚^さえる逝去者

[今週逝去の記念日を迎える人(=別紙参照)]

暴力や犯罪、災害の犠牲となった人
を^{かえり}顧み、^{かれ}彼らの上に^{うえ}主^{しゅ}の愛^{あい}のみ^{むね}旨^なを成^なし^と遂^とげてく
ださい。わたしたちは、世^よ々に主^{しゅ}の証^{あかし}人^{びと}たちに与^{あた}
えられた主^{しゅ}の恵^{めぐ}みのゆえに、み名^なをたたえます。ど
うか、わたしたちも、^{かれ}彼らと^{まじ}の交^{まじ}わりを^{たも}保ち、とも
に^{くに}み国の栄^{えい}光^{こう}にあ^いずからせてください
一同 主よ、これらのことをみ子イエス・キリスト
によって^{ねが}お願いいたします アーメン

「聖公会モンゴルの森」プロジェクト ご協力をお願い

日本聖公会は、大韓聖公会と共に、砂漠化が進む
モンゴルの大地に木を植える「聖公会モンゴルの森」
プロジェクトに参加しています。豊かな自然を次の
世代へ受け継ぐため、1ヘクタール、約1,000本の
植林を目標に協力しています。被造物を守ることも
宣教の大切な働きです。この取り組みは、神・人・
自然との和解を目指す宣教の実践であり、日本聖公
会と大韓聖公会が共に歩む日韓協働の働きでもあり
ます。

礼拝堂入口の掲示板に、写真とご案内を掲示して
いますので、ぜひご覧ください。植林の目安は1本
約3,000円です。金額にかかわらず、自由献金とし
てご協力ください。皆さまのお祈りとご支援が、モ
ンゴルの大地に新しいいのちを育み、未来への希望
をつないでいきます。

◇ 聖アンデレ教会広報のYouTubeチャンネル

「今、福音に聴く」では、卓志雄司祭によるマタイ福音書の最終回を配信しています。次回、ヨハネ福音書まで、どうぞ今しばらくお待ちください
ご視聴は

<https://www.youtube.com/watch?v=ehwlo2BnVz0>

又は右のQRコードからお願いいたします。

<お知らせ>

◇ 去る8月31日～9月2日に行われた日本聖公会
第71(定期)総会において、主座主教に西原廉
太主教が選ばれました。又、当教会牧師の卓志雄
司祭が日本聖公会管区総主事に任命されました。

◇ バザーの献品を受け付けています。
愛餐会後に仕分け・値付け作業を行います。
皆さまのご協力をお願いいたします。

◇ 2027年の聖公会手帳・カレンダーの購入をご希
望の方は、所定の封筒に必要事項をご記入の上、
お釣りのないように入金を入れて、受付の申込箱
にお入れください。

締め切り：11月8日(日)厳守

なお、2027年につきましては「教会暦日課表」の
冊子は発行されません。

◇ 聖書朗読(旧約聖書・使徒書)を分担しませんか
み言葉を皆さんの前で声を出して読むことは、素
晴らしい恵みです。受洗・堅信記念日・誕生日・結
婚記念日・ご家族の逝去記念日などを迎える主日
にぜひご奉仕ください。ご希望の方は聖堂受け
付近の表にお名前をご記入ください。

◇ 聖餐式聖書日課表(9月～11月)が、礼拝堂受
付においてあります。お要りようの方はどうぞ
おもちください。

◇ 【聖書を学ぶ会】毎月第1水曜日13:30～開催
しています。今回は10月7日(水)です。現在、
土井かおる著『よくわかるキリスト教』(PHP研
究所、2004年)をテキストとして用い、聖書、キ
リスト教の歴史、教理、ならびに現代における課題
について学びを深めています。多くの方の参加を
歓迎しこの学びの時が、より豊かなものとされるこ
とを願っています。

◇ 聖アンデレ教会オリジナルTシャツを1枚¥2,500
で販売しています。

【注意】教会内施設、和室など、電気やエアコンの消し
忘れ、鍵の閉め忘れがたびたび見受けられます。
使用された方は、必ず最後の確認をお願いいたします。



広報チャンネル



Instagram



ホームページ



Facebook

本日・今週の予定

9月27日(日) 聖霊降臨後第18主日(特定21)

7時半 聖餐式
9時15分 こどもとともにささげる礼拝
10時半 聖餐式
17時 夕の礼拝

・愛餐会 ・愛餐会後 バザー献品仕分け・値付け作業
・15時 城南G教会協議会(於:東京聖マリア教会)

28日(月) 7時半礼拝

ヨブ 1:6-22 詩 17:1-11 ルカ 9:46-50

29日(火) 聖ミカエルおよび諸天使の日 7時半礼拝

創:28:10-17 詩 103:18-21 黙12:7-12 ヨハ 1:47-51

卓司祭在室(午前)

30日(水) ヨブ 9:1-12 詩 88:1-5, 9 ルカ 9:57-62

10月1日(木) 7時半礼拝

ヨブ 19:21-27a 詩 27:14-17 ルカ 10:1-12

・13時 一の会

2日(金) 7時半礼拝

ヨブ 38:1, 12-21, 40:3-5 詩 139:7-12 ルカ 10:13-16

3日(土) 7時半礼拝

ヨブ 42:1-3, 6, 12-17 詩 119:169-176 ルカ 10:17-24

・10時 / 17時40分 洗礼の学び

4日(日) 聖霊降臨後第19主日(特定22)

7時半 聖餐式
9時15分 こどもとともにささげる礼拝
10時半 聖餐式

イザ 5:1-7 詩 80:7-15 フィリ 3:4b-14

マタ:21:33-46 聖歌 49, 536, 507, 464, 397

17時 夕の礼拝 聖歌 535

詩 145 王下 20 I コリ 2:6-16

・愛餐会

・愛餐会後 バザー献品仕分け・値付け作業

今週のメッセージ

イスラエルの民が神に背き、偶像に心を向けていた時代に、預言者エゼキエルは神のみ言葉を語り続けました。神はエゼキエルを通して、「立ち帰って、生きよ」と呼びかけられます。神が望んでおられるのは、人が罪の中にとどまることでも、滅びることでもありません。たとえ道を踏み外しても、考え直し、神に向き直り、再び歩み始めることです。

今日の福音書で、イエス様は「2人の息子」のたとえを語られます。父からぶどう園へ行くように言われ、初めは「行きたくありません」と答えながら、後で考え直して出かけた兄。一方、「行きます」と答えながら、実際には行かなかった弟です。

イエス様は、当時「罪人」と見なされていた徴税人や娼婦たちが、洗礼者ヨハネやイエス様の言葉を聞いて「考え直した」ことを語られます。それに対して、自分たちは神に従っていると思っていた宗教指導者たちは、神からの呼びかけを聞いても、自らを振り返ろうとはしませんでした。

大切なのは、最初から正しく生きてきたかどうかではありません。神のみ言葉を聞いたとき、そこから「考え直す」ことができるかどうかです。昨日まで間違った方向を歩いていたとしても、今日、向きを変えることができる。そこに福音があります。

神の正しさは、単なる道徳的な正しさではありません。神は人間を切り捨てるのではなく、「立ち帰って、生きよ」と呼びかけてくださいます。そして、私たちがもう一度歩き始めることができるように、「新しい心と新しい霊」を与えようとしてくださいます。

「悔い改める」と聞くと、自分の罪を責め、反省することのように感じるかもしれません。しかし、それだけではありません。悔い改めとは、神の方向へと心を向け直し、神によって造られた本来の自分へと立ち帰っていくことでもあります。

罪は、人を傷つけ、自分自身の尊厳をも傷つけます。しかし神は、その人を決して諦めません。神の似姿として造られた、かけがえのない存在として回復しようとしてくださいます。だからこそ、「考え直す」ことができるということ自体が、神様から与えられた大きな恵みなのです。

(司祭 卓志雄)